

令和5(2023)年度

岡山県立大学大学院

情報系工学研究科

(博士後期課程)

学生募集要項

(秋季入学募集)

令和5年9月入学者用



岡山県立大学大学院情報系工学研究科には、博士前期課程（修士課程）及び博士後期課程（博士課程）が設置されています。本冊子は博士後期課程の学生募集要項及び案内です。

本研究科の博士後期課程システム工学専攻は、博士前期課程のシステム工学専攻との密接な連携関係を保つ3つの領域から組織され、情報系工学分野における高度な専門知識と幅広い基礎知識を持つ研究技術者の育成を目標とする教育・研究が進められています。出願に際しては、各領域の内容を熟読の上、所定の期日までに書類を提出してください。

入 学 者 選 抜 日 程 等 の 概 要

秋季入学募集

| 事 項 | 日 程 ・ 試 験 会 場 等 |
|------------------|--|
| 障害等のある入学志願者の事前相談 | 令和5年 7月14日（金）まで |
| 出願資格の審査書類の提出 | 令和5年 7月24日（月）まで 〔2ページの出願資格(5)又は(6)に該当する者〕 |
| 指導希望教員との面談 | 令和5年 7月24日（月）まで |
| 出願期間 | 令和5年 7月31日（月）～令和5年 8月 4日（金） |
| 試験日：会場 | 令和5年 8月23日（水）：岡山県立大学 |
| 合格者発表 | 令和5年 9月 1日（金） |
| 入学手続 | 令和5年 9月 7日（木）～令和5年 9月 8日（金） |
| 入学日 | 令和5年 9月24日（日） |

目 次

| | | |
|-----|---------------------------------|----|
| I | 情報系工学研究科の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー） | 1 |
| II | 岡山県立大学大学院情報系工学研究科(博士後期課程)学生募集要項 | 2 |
| 1 | 募集人員 | 2 |
| 2 | 出願資格 | 2 |
| 3 | 出願手続 | 2 |
| 4 | 試験日等 | 6 |
| 5 | 合格者発表 | 7 |
| 6 | 入学手続 | 8 |
| 7 | 初年度納付金 | 9 |
| 8 | 学位記に付記される名称 | 10 |
| 9 | 社会人の履修について | 10 |
| 10 | 安全保障輸出管理について | 10 |
| 11 | 奨学金及び授業料の減免等について | 10 |
| 12 | 個人情報について | 10 |
| III | 岡山県立大学大学院情報系工学研究科（博士後期課程）の案内 | 11 |
| IV | 試験会場の配置図及び案内図 | 15 |

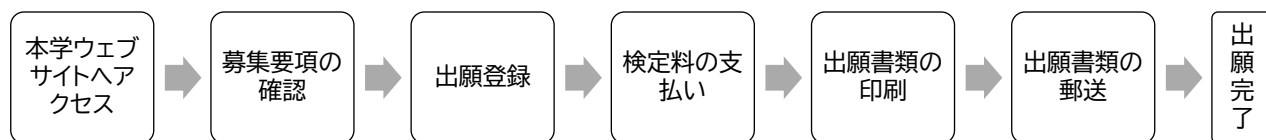
〈重要なお知らせ〉

新型コロナウイルス感染症の影響により、入試日程や実施方法が変更される可能性があります。出願の際にはウェブサイトで最新の情報をご確認ください。

〈出願方法（インターネット出願）〉

岡山県立大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、パソコン・タブレット・スマートフォン等を利用したインターネット出願を導入しています。インターネット出願を利用することにより、出願期間中は24時間いつでも出願登録ができます。

なお、卒業証明書等、出願期間中に郵送が必要な書類があるので、ご注意ください。



I 情報系工学研究科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報系工学研究科が学位授与の方針に掲げる人材を育成するために、国内の学生のみでなく、社会人あるいは海外からの学生を選抜できるように博士前期課程及び博士後期課程のアドミッション・ポリシーに示す入試を実施しています。

システム工学専攻（博士後期課程）の入学者受入れの方針

システム工学専攻（博士後期課程）は、デジタル革新による未来創造社会の多様な要請に応えるべく、専門分野において、理論や技術を深く修得し、新たな問題を発見し解決することによって、既存の枠組みにとらわれない総合的・先端的知識や技術を切り開くことができる技術者、研究者の育成を目指しています。

したがって、電子情報通信工学、機械情報システム工学、人間情報システム工学等の専門分野において、理論や技術を修得し、英語によるグローバルな情報を収集し、発信する能力や、主体的に研究課題を発見し、解決に導く過程をマネジメントする態度と意欲を持つ人を求めます。

システム工学専攻（博士後期課程）では、上記のような学生を社会人及び海外からも選抜するために、夏季募集、冬季募集、秋入学募集及び海外特別学生募集を実施します。

夏季募集、冬季募集及び秋入学募集では、学力検査（専門科目）により専門分野における知識・思考力・表現力を評価し、学力検査（外国語（英語））によりグローバルに情報を収集及び発信する能力を評価し、面接及び書類審査により研究活動に対する実績、意欲、主体性、協調性、マネジメント力を評価します。

海外特別学生募集では、面接（外国語（英語）、専門分野、修士論文及び研究計画に関する口頭試問を含む。）により、専門的知識・論理的思考力・表現力、情報の収集・発信能力、研究活動に対する実績、意欲、主体性・協調性、マネジメント力を評価します。

II 岡山県立大学大学院情報系工学研究科(博士後期課程)学生募集要項

1 募集人員

| 専攻 | 入学定員 | 募集人員 | 試験日 |
|----------|------|------|--------------|
| システム工学専攻 | 6人 | 若干人 | 令和5年8月23日(水) |

- (注)・入学定員には夏季募集及び冬季募集を含みます。
・募集人員には社会人及び外国人留学生を含みます。

2 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和5年9月23日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月23日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月23日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年9月23日までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (6) 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると学長が認めた者で、令和5年9月23日までに24歳に達する者
※ 出願資格(5)又は(6)により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の審査を行います。(5ページの3の(9)参照)

3 出願手続

(1) 出願方法

出願は、インターネット出願（インターネットによる出願登録、検定料支払い及び出願書類の郵送）のみとします。本学ウェブサイトに記載している「インターネット出願ガイド」をよく読んで出願手続きを行ってください。

インターネットによる出願登録及び検定料の支払いが完了したら、(4)の出願書類等を一括して角形2号(縦332mm×横240mm)の封筒に入れ、**簡易書留速達扱いの郵送**により提出してください。ただし、出願期間最終日に限り直接持参を認めます。なお、受付開始時刻は9時とし、受付終了時刻は17時とします。また、直接持参の場合は、持参する前日までに、本学教学課入試班までご連絡ください。

また、出願時に海外に在住する者は、本学から書類を送付するための「日本国内の連絡先」を設定してください。(日本国内の連絡先がない場合は、この限りではありません。)

(2) 出願期間

令和5年 7月31日(月)から令和5年 8月 4日(金)まで

(注1) 8月5日(土)以降に到着したものは、8月3日(木)までの発信局消印のある「簡易書留速達郵便」に限り有効とします。

※ 上記の「発信局消印」とは日本国内の郵便局消印を指しますので、外国から郵送する場合は、出願期間中に本学に到着するよう所要日数を十分に考慮して発送してください。

(注2) 出願書類の到着確認の問い合わせについては、本学では回答できません。配達状況は、日本郵政のウェブサイト等の郵便追跡サービスの利用又は郵便局へのお問い合わせによりご確認ください。

(3) 出願先

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地 岡山県立大学事務局教学課入試班

(4) 出願書類等

| 必要書類等 | 作成方法 |
|-----------------|--|
| ① 志願票(原票) | インターネットでの出願登録及び検定料の支払いが完了したら、別冊「インターネット出願ガイド」を参照のうえ案内にしたがってダウンロード・印刷し、提出してください。 「志願領域」については、11ページの「領域編成と教育・研究内容」を参照の上、志望する領域名を記入してください。 「指導希望教員名」の欄には、事前に面談を行った教員名を記入してください。 |
| ② 卒業又は修了(見込)証明書 | 出身大学の学長、学部長又は研究科長が作成し、厳封したもの。 なお、本学大学院の修了者及び修了見込者は提出の必要はありません。 |
| ③ 成績証明書 | 出身大学の学長、学部長又は研究科長が作成し、厳封したもの。 在学中に単位修得した全ての授業科目の成績が記載されたものを提出してください。 出願資格(1)、(2)、(3)又は(4)により出願する者は、学部及び大学院の成績証明書を、出願資格(5)又は(6)により出願する者は学部の成績証明書を提出してください。 |
| ④ 履歴書 | 本学所定の様式を使用し、入学志願者本人が記入してください。 様式は、本学ウェブサイトからダウンロードしてください。 なお、「志願領域」には、志願票(原票)に記入した領域名を記入してください。 出願時に海外に在住する者は、「海外の住所」を現住所(通信先)に、設定された「日本国内の連絡先」を緊急連絡先(帰省先など)に記入してください。 |
| ⑤ 修士論文等 | ア 修士の学位を有する者は、修士論文の写し又は修士論文の要旨(2,000字程度にまとめたもの) イ 修士課程修了見込みの者及び出願資格(5)又は(6)により出願する者は、研究経過又は業務内容の報告書(2,000字程度にまとめたもの) なお、研究発表や特許等の資料があれば添付してください。 |
| ⑥ 研究計画書 | システム工学専攻(博士後期課程)に入学後、取り組みたい研究分野及び課題について記述してください。(様式は随意) |
| ⑦ 出願承諾書 | 在職のまま入学しようとする者は、当該所属長の出願承諾書を提出してください。(様式は随意) |

| 必要書類等 | 作成方法 |
|-------|--|
| ⑧ その他 | 外国人の入学志願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明示した「住民票の写し」を提出してください。市区町村に住民登録をしていない者は、パスポートの本人の氏名、生年月日及び性別の部分の写しを提出してください。 |

- (注) 1 出願書類は黒ボールペンで記入してください。④の本学所定の様式は、本学ウェブサイトからダウンロードできます。書き間違えた場合は、二重線で消して正しい内容を横に書いてください。
- 2 本学所定の様式の中の※印欄には何も記入しないでください。
- 3 出願に必要な書類のうち、外国語（英語を除く。）で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- 4 外国の大学が発行した証明書の原本の返却を希望する者は、その旨出願書類等を提出する際に申し出てください。原本を本学でコピーして返却します。

(5) 検定料

① 検定料

30,000円

② 支払方法

インターネット出願の手順にしたがい、所定の支払い方法から検定料の支払いを行ってください。支払い方法は以下のとおりです。

ア コンビニエンスストア払い

イ クレジットカード決済

ウ 銀行ATM（ペイジー支払い対応銀行）／ネットバンキングでの支払い

※各種支払いにかかる手数料は、入学志願者の負担となります。

③ 納付期間

令和5年7月31日(月)～令和5年8月4日(金)

④ 検定料の返還

納付された検定料は、次のアからウまでの場合を除き返還しません。返還する場合の返還額は検定料相当額とします。検定料の返還は納付した者からの請求に基づき行いますので、該当者は当該試験日の属する月の月末までに本学教学課入試班へ連絡し、必要な手続きをとってください。イの場合は本学教学課入試班から該当者に連絡します。

ア 検定料を納付したが、出願しなかった場合

イ 検定料を納付したが、出願が受理されなかった場合

ウ 検定料を誤って二重に納付した場合

⑤ 特例措置

以下のア又はイに該当する方には検定料全額免除の特例措置があります。検定料免除を希望される方は**出願登録前**に必ず本学教学課入試班へ連絡し、**出願期間前**に必要な書類を提出してください。

ア 東日本大震災及び平成30年7月豪雨の被災者

※詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。

イ 本学の大学院博士前期課程又は修士課程を修了見込みで、引き続き博士後期課程に進学しようとする者

(6) 指導希望教員との面談

情報系工学研究科博士後期課程の具体的な研究内容等を知っていただくため、**令和5年7月24日(月)までに指導を希望する教員へ連絡し、必ず面談を行ってください。**また、指導を希望する教員に出願の承諾を得てから出願してください。

なお、指導を希望する教員は、12～14ページの「研究指導教員と主な研究課題」を参照してください。

(7) 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、令和5年7月14日（金）までに本学教学課入試班へ連絡し、相談してください。なお、受験上及び修学上の配慮事項についての決定通知があるまでは出願登録しないでください。

相談の内容によっては、対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず特別な配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

申請にあたっては、「岡山県立大学大学院入学者選抜試験の出願に関する協議書」を作成のうえ必要書類を添付し、本学教学課入試班へ郵送により提出してください。詳しくは本学ウェブサイトをご覧ください。

(8) 出願手続上の注意事項

- ① 出願に必要な書類等がそろっていない場合は受付できませんので十分確認してください。
- ② 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願受付後に出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学教学課入試班へ連絡してください。
- ④ 受付をした出願書類は返還しません。
- ⑤ 出願時に海外に在住する者で「日本国内の連絡先」を設定したものへの書類は、当該連絡先に送付します。

(9) 出願資格の審査

2の出願資格(5)又は(6)により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の審査を行いますので、次の必要書類を令和5年7月24日（月）（必着）までに本学教学課入試班へ提出してください。資格審査の結果は申請者あて通知します。なお、書類を提出するに当たっては、事前に専攻長及び指導を希望する教員との面談を済ませておいてください。

なお、専攻長は以下のとおりです。

| | |
|-----------------|--------|
| システム工学専攻長（博士後期） | 尾崎公一教授 |
|-----------------|--------|

| 必要書類 | 作成方法 |
|-------------|---|
| ① 出願資格認定申請書 | 本学所定の様式を使用し、必要事項を漏れなく記入してください。 |
| ② 卒業証明書 | 最終出身校が作成し、厳封したもの。 |
| ③ 成績証明書 | 最終出身校が作成し、厳封したもの。 在学中に単位修得した全ての授業科目の成績が記載されたものを提出してください。 |
| ④ 業績調書 | 本学所定の様式を使用し、専攻分野に関連する研究業績等について作成したもの。 |
| ⑤ 資格免許証等 | 専攻分野に関連する各種免許証等、参考となると思われる書類等の写し（簡単な説明を付してください。） |

- (注) 1 「本学所定の様式」は、本学ウェブサイトよりダウンロードしてご利用ください。
2 出願資格が認定された場合の出願書類について、②及び③の書類は省略することができます。

4 試験日等

(1) 試験日・時間割

| | |
|-----|---------------|
| 試験日 | 令和5年 8月23日(水) |
|-----|---------------|

| 試験区分 | 時間 |
|--|---------------|
| 面接（修士論文等及び研究計画書を中心に行う。） | 10時00分～12時00分 |
| 学力検査 ・外国語（英語） ・専門科目（志望する領域に関係した科目） | 13時30分～15時30分 |

(注1) 所定の学力検査及び面接のいずれか一方でも受験しない者は、選抜対象から除きます。

(注2) 受験者は、9時45分までに指定された試験室（面接にあつては、面接控室）に集合し、着席してください。なお、試験室は、試験当日、試験会場に掲示します。

(注3) 筆記試験及び面接の開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。

(2) 選抜方法

入学者の選抜は、修士論文等及び研究計画書等の審査並びに学力検査、面接の結果を総合して行います。

(3) 配点

| 科目名等 | 配点 | 配点合計 |
|------------|-----|------|
| 学力検査（外国語） | 100 | 300 |
| 学力検査（専門科目） | 100 | |
| 面接及び書類審査 | 100 | |

(4) 試験会場

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地 岡山県立大学

(5) 受験上の注意事項

① 試験当日の持参品について

ア 受験票について、**試験の5日前**までに印刷が可能になった旨のお知らせを本学ウェブサイトへ掲載するとともに、同じ内容をインターネット出願システムに登録されたメールアドレスにも送信しますので、受験票を印刷のうえ持参してください。（A4用紙、カラー、ページの拡大・縮小はしない。）

なお、メールが受信できていなくても本学ウェブサイト上記のお知らせが掲載されていれば、受験票の印刷は可能です。

また、**試験日の5日前を過ぎても**受験票印刷ボタンが表示されない場合は、本学学課入試班へ連絡してください。

イ 受験票は、試験実施時に指示に従って試験監督者に明示できるよう机の上に置いてください。当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で受験票の交付又は指示を受けてください。

受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

ウ 受験票のほかに学力検査時間中に机の上に置けるものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り（電動式を除く。）、時計（時刻表示機能のみで、秒針音のしないもの）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬です。

これ以外のものを置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

- エ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室（面接にあつては、面接控室）に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
- オ 試験監督者が受験者の顔の確認を行います。「マスク」や「帽子」を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう試験監督者が指示することがあります。
- カ 試験室（面接にあつては、面接控室）における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- キ 面接控室では、待機中の読書（教科書やメモも可とする。ただし、電子書籍を除く。）や水分補給を認めますが、待機中に本や水筒等をかばん等から取り出すときは、必ず試験監督者の許可を受けてください。
- ク 必要に応じて昼食を持参してください。試験当日、学生会館内の食堂は利用できません。
- ケ 試験会場における忘れ物について、試験実施日から一定の期間は本学で保管します。一定期間を過ぎた後は廃棄しますので、あらかじめご了承ください。

② 不正行為について

- ア 不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなり、全ての試験成績が無効となります。また、不正行為の内容によっては、警察に被害届を提出する場合があります。

なお、次のことをすると不正行為となります。

- ・ 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。
- ・ カンニングをすること。
- ・ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ・ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ・ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 「解答始め。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類を使用すること。
- ・ 「解答やめ。」の指示に従わず、解答を続けること。

- イ 上記以外にも、次のことをすると不正行為となる場合があります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記と同様です。

- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
- ・ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ・ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ・ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ・ 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

③ その他

- ア 所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、入学志願者への緊急連絡が必要となった場合は、本学ウェブサイトでお知らせします。
- イ その他連絡の必要が生じた場合は、インターネット出願システムに登録された連絡先に通知します。

5 合格者発表

(1) 発表日時

令和5年 9月 1日（金）10時

(2) 発表方法

本学ウェブサイト合格者の受験番号及び合格通知書の取得方法を掲載します。(このページのことを以下「合格発表ページ」という。)(掲示による発表はしません。)

電報、電話、郵便、電子メール等による問い合わせには応じません。

(注) 試験当日、試験会場及びその周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、その責任を負うことはできません。

6 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続きの詳細については、合格発表ページをご確認ください。

(4)の入学手続に要する書類等を一括し、**簡易書留速達扱いの郵送**により提出してください。ただし、入学手続期間最終日に限り直接持参を認めます。なお、受付開始時刻は9時とし、受付終了時刻は17時とします。また、直接持参の場合は、持参する前日までに、本学教学課入試班までご連絡ください。

(2) 入学手続期間

令和5年 9月 7日(木) から令和5年 9月 8日(金) まで(必着)

(3) 入学手続先

〒719-1197 岡山県総社市窪木111番地 岡山県立大学事務局教学課入試班

(4) 入学手続に要する書類等

| 入学手続に要する書類等 | 作成方法 |
|-------------------|---|
| ① 受験票 | |
| ② 宣誓書 | 本学所定の様式を使用し、必要事項を記入の上、必ず押印してください。 |
| ③ 住民票記載事項証明書(証明願) | 7の(1)①の「岡山県内の者」に該当する者のみ必要です。本学所定の様式(市区町村の様式ではありません。)を使用し、居住地の市区町村の関係窓口へ提出して証明を受けてください。 |
| ④ 入学料 | 7(1)の額の入学料を納付する必要があります。納付方法については、合格発表ページをご確認ください。ただし、本学大学院博士前期課程又は修士課程を修了見込みで、引き続き博士後期課程に進学する者は、入学料の納付は必要ありません。 |
| ⑤ 写真1枚(学生証作成用) | 縦4cm×横3cmの写真(正面上半身無帽、背景なし、カラー)の裏面に専攻名、氏名を記入してください。 |
| ⑥ 学位授与証明書 | 2の出願資格(1)、(2)、(3)又は(4)に該当する者で、学位取得見込みで受験した者(本学大学院で修士の学位を取得見込みの者は提出不要) |

(注) 1 「本学所定の様式」については、合格発表ページをご確認ください。

2 ⑥に示す学位授与証明書は、入学資格(2の出願資格(1)、(2)、(3)又は(4))の判定資料です。該当者は令和5年9月21日(木)までに必ず提出してください。

(5) 入学手続上の注意事項

① 入学手続は、所定の期日までに完了してください。期間内に手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。

② 必要な書類の全てがそろっていないものは受付できませんので、書類等の提出の際には十分確認してください。

- ③ 入学手続期間を過ぎて到着したものは受付できませんので、郵送の場合は、所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ④ 受付をした入学手続書類は返還しません。
- ⑤ 令和5年9月24日（土）時点で入学資格を欠く場合は、入学を許可しません。

7 初年度納付金

(1) 入学料

入学手続の際には、次の額の入学料を納付する必要があります。

- ① 岡山県内の者 188,000円
- ② 上記以外の者 282,000円

(注) 1 「岡山県内の者」は、次のいずれかに該当する者をいいます。

- (1) 令和4年9月1日から引き続き岡山県内に住所を有している者
- (2) 令和4年9月1日から配偶者又は1親等の親族が引き続き岡山県内に住所を有している者

2 「岡山県内の者」は、居住地の市区町村長の証明を受けた「住民票記載事項証明書」により判断します。

なお、(注)1の(2)に該当する者及び令和4年9月2日以降に県内で移動した者は、追加で提出していただく書類がありますので、本学教学課入試班へお問い合わせください。

3 入学料の改定があった場合は、改定後の入学料が適用されます。

4 納付された入学料は、次の(1)から(3)までの場合を除き返還しません。返還する場合の返還額は納付された入学料相当額とします。入学料の返還は納付した者からの請求に基づき行いますので、該当者は令和5年9月14日（木）までに本学教学課入試班へ連絡し、必要な手続（入学料納付証明書が必要です。）をとってください。(2)の場合は本学教学課入試班から該当者に連絡します。

- (1) 入学料を納付したが、入学手続をしなかった場合
- (2) 入学料を納付したが、入学手続が完了しなかった場合
- (3) 入学料の額を誤って納付した場合

(2) 授業料

- ① 金額 (年額) 535,800円
- ② 納付方法 入学後、前期、後期の2回に分けて納付していただきます。
- ③ 納付時期 前期 7月末 後期 11月末

(注) 授業料は、原則として口座振替により納付していただくこととなりますので、入学時に必要な手続をお願いします。納付された授業料は返還しません。なお、授業料の改定があった場合は、改定後の授業料が適用されます。

(3) 保険料、後援会費、同窓会費

① 金額

| 保険料※ | 後援会費 | 同窓会費 |
|-------------|--|----------------|
| 3,620円(3年分) | 53,000円 入会金20,000円 +会費(3年分)33,000円 | <u>10,000円</u> |

(注) 本学を卒業・修了した者（見込みを含む。）は、後援会費入会金及び同窓会費を納付する必要はありません（下線部分）。

※学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険（(公財)日本国際教育支援協会主催）の保険料

② 納付方法 入学手続時に、金融機関から納付してください。ただし、入学を辞退した場合は返還します。

(注) 保険料、後援会費、同窓会費の納付方法については別途お知らせします。

8 学位記に付記される名称

岡山県立大学大学院情報系工学研究科博士後期課程を修了した者は、博士の学位が授与されま

す。
その際、学位記に付記される名称は、「工学」です。

9 社会人の履修について

大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第15条に基づき、職業を有している等の事情による修学の困難さに対して標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程の履修を認める「長期履修学生制度」を設けています。

長期履修学生となるためには、長期履修の許可申請を行い、大学から許可を受ける必要があります。長期履修学生として許可を受けた場合は、長期履修期間の延長、長期履修の取消・中止、授業料の減免・徴収猶予の申請ができなくなりますので、事前に担当指導教員に相談し、所見を得た上で許可申請を行うこととなります。

10 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

11 奨学金及び授業料の減免等について

奨学金及び授業料の減免等については、入学後相談に応じます。入学後に岡山県立大学事務局 教学課学生支援班にお問い合わせください。

12 個人情報について

本学が入学者選抜等において取得する個人情報は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び本学の規程に基づき取り扱うとともに、次の業務で利用します。

- ① 出願に当たって知り得た個人情報は、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表及び入学手続及びこれに付随する業務を行うために利用します。また、入学者選抜で用いた試験成績等の個人情報は、選抜方法の検討や大学教育の改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
- ② 本学の入学手続を完了した者の個人情報は、入学後における教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請、就職支援等）及び授業料等の徴収に関する業務を行うために利用します。
- ③ 本学合格者の個人情報は、本学の関係団体である同窓会及び後援会から本学合格者に連絡を行うために利用します。
- ④ 上記のうち一部の業務を本学から業者に委託することがあります。業務委託に当たり、当該業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

Ⅲ 岡山県立大学大学院情報系工学研究科（博士後期課程）の案内

高度情報化社会は、情報処理と通信技術が融合した社会と言え、情報化がもたらす知識の共有と再利用技術は、産業・行政・経済・文化などあらゆる分野の発展に大きく貢献しています。また、人間に近い知的能力を計算機に実現させる知能化技術は産業・社会の進展に大きく寄与しつつあります。さらに、情報化の進展とともに複雑化する社会の多様なニーズに適切に応えるには、情報化をベースに、新しい視点に立って、システムとその構成要素の開発、それらの統合化と知能化を強力に推進する必要があります。

このため本専攻の3領域では、計算機のさまざまな分野における援用を共通基盤とする教育・研究を行います。

領域編成と教育・研究内容

【電子情報通信工学領域】

情報量の増加と多様化に伴い、情報処理技術、情報通信技術、電子デバイス技術は情報化社会の進展を支える根幹的な基礎技術です。本領域では、管理科学と経営情報の数理解析、大量情報を扱う知識化データベース、情報通信の高速広帯域化と利用形態の多様化に対応するために、光・電磁波の基礎と応用、通信ネットワーク技術、情報信号の符号化、半導体技術と光・電子デバイスの開発・応用などに関する教育・研究を行います。

【機械情報システム工学領域】

情報化社会における機械・プロセス技術の展開は知能化並びに統合化の進展と密接な関係があります。本領域では、機械・プロセスシステムの知能化と設計・生産過程の統合化を促進するために、計算機を用いた知的処理の高度化とその機械・プロセス制御への応用、人間-機械系のヒューマンインタフェース、材料・運動・エネルギーに関するモデリングとシミュレーション、設計における情報処理、機械・プロセスシステムの最適化と評価などに関する教育・研究を行います。

【人間情報システム工学領域】

人間が生活環境において使用する機器やシステムの設計・開発においては、人間の特性によく適合するという立場、つまり「人間中心の設計思想」が重要です。本領域では、人間の特性を身体運動、動作及び行動のみならず認知機能の面からも分析・理解し、人間と機器との適合評価を通じて、「人間中心の設計思想」を踏まえた工学・技術の開発に関する教育研究を行います。

研究指導教員と主な研究課題
令和5年度

| 領域名 | 職名 | 氏名 | 専門分野 | 主な研究課題 |
|------------|-----|-------|------------------------------|---|
| 電子情報通信工学領域 | 教授 | 金川明弘* | 情報数理学、経営科学・OR | (1)ニューラルネットと判別分析 (2)情報量統計学と管理技術への応用 (3)組合せ最適化問題とメタ解法 |
| | | 岩橋直人 | 知能ロボティクス、機械学習 | (1)ロボットによるマルチモーダル対話能力の学習 (2)ヒューマン・ロボット・インタラクション (3)物体の概念学習 |
| | | 榊原勝己 | 通信・ネットワーク工学 | (1)代数的誤り訂正符号の構成と復号法 (2)通信システムの信頼性向上のための誤り制御方式 (3)移動体無線通信システムの性能評価と安定性解析 |
| | | 大久保賢祐 | マイクロ波・ミリ波工学 | (1)磁性体を含むマイクロ波回路 (2)負の屈折率伝送媒質とマイクロ波回路への応用 (3)移動体通信用高周波集積回路 |
| | | 稲井 寛 | 通信・ネットワーク工学 | (1)通信システムの性能予測 (2)高速かつ大規模な情報ネットワークの設計 (3)情報ネットワークを用いた処理の分散化 |
| | | 伊藤信之 | アナログ集積回路、デバイスモデリング | (1)高周波アナログ集積回路の研究 (2)高周波デバイスモデリングの研究 (3)無線通信用高周波集積回路の研究 |
| | | 末岡浩治 | 応用物性・結晶工学 | (1)分子シミュレーションを用いた LSI 用半導体基板の開発に関する研究 (2)第一原理計算法による新材料の探索 (3)半導体表面と界面の物性に関する基礎研究 |
| | 准教授 | 滝本裕則 | 知覚情報処理、画像工学 | (1)視覚情報処理のモデル化に関する研究 (2)ヒューマンセンシングの高度化 (3)視知覚特性に基づく画像処理技術に関する研究 |
| | | 若林秀昭 | 電磁界理論、光電磁波工学 | (1)電磁波の散乱・回折問題の解析のための理論と算法に関する基礎的研究 (2)周期構造や人工媒質に起因する光波・電磁波現象の解明と応用に関する研究 |
| | | 福嶋丈浩 | 応用光学、量子光工学 | (1)2次元微小共振器半導体レーザに関する研究 (2)レーザカオスとその応用に関する研究 (3)光デバイスの試作・評価に関する研究 |
| | | 野田祐輔 | 計算材料科学、機械学習、マテリアルズ・インフォマティクス | (1)第一原理計算を用いた半導体材料の電子状態・物性解析 (2)半導体材料の物性解析に向けた機械学習型原子間ポテンシャル計算手法の開発 (3)情報科学と材料データを活用した機能性新材料の探索 |

| 領域名 | 職名 | 氏名 | 専門分野 | 主な研究課題 | |
|--------------|--------------|------|----------------------|--|--|
| 機械情報システム工学領域 | 教授 | 忻 欣 | ロボット工学、制御工学 | (1)劣駆動ロボットの制御系の設計と解析 (2)電力システムの安定性解析と制御系設計 (3)複雑システムの解析と制御 | |
| | | 尾崎公一 | 材料力学、熱工学 | (1)多孔質材料の熱的・機械的特性とその応用 (2)数値シミュレーションによる鋳造プロセスの解析 (3)軽金属の強度特性 | |
| | | 妻屋 彰 | 設計工学、生産システム工学 | (1)上流設計の支援方法に関する研究 (2)柔軟・レジリエントなサプライチェーンに関する研究 (3)設計・生産・運用情報の利活用に関する研究 | |
| | 准教授 | 横川智教 | ディペンダブルシステム、ソフトウェア工学 | (1)形式手法に基づくソフトウェアシステムの高信頼化に関する研究 (2)モデル検査を用いたハードウェア設計の自動検証に関する研究 | |
| | | 石井 裕 | ヒューマンインタフェース | (1)身体的アバタを介したコミュニケーション支援 (2)ヒューマンエージェントインタラクションに関する研究 | |
| | | 福田忠生 | 材料加工学、計算力学 | (1)熱処理加工を施した材料の強度特性 (2)分子シミュレーションを用いた材料強化機構の解明 (3)鋳造軽金属の強度特性 | |
| | | 徳永義孝 | 電力工学 | (1)電力設備の解析モデル推定に関する研究 (2)家電機器の電力品質特性に関する研究 | |
| | 人間情報システム工学領域 | 教授 | 佐藤洋一郎 | コンピュータ工学、画像工学 | (1)大規模デジタルシステムの高性能化・高信頼化 (2)高機能画像処理アクセラレータ (3)医用機器の高性能化 (4)高密度動画像の高速変換法 |
| | | | 山内 仁 | 画像工学 | (1)画像情報からの物体・動作の認識に関する研究 (2)画像データ処理に関する研究 |
| 齋藤誠二 | | | 人間工学、運動生理学 | (1)ユーザビリティを考慮した靴の機能性に関する研究 (2)靴底の摩耗の影響と摩耗の計測法に関する研究 (3)歩容認証のための特徴点の抽出 | |
| 綾部誠也 | | | 応用健康科学、運動生理学 | (1)安全かつ効果的な身体運動に関する研究 (2)日常生活活動の定量方法に関する研究 (3)快適な身体動作の実現に資する装具に関する研究 | |

| 領域名 | 職名 | 氏名 | 専門分野 | 主な研究課題 |
|--------------|-----|-------|---------------|---|
| 人間情報システム工学領域 | 教授 | 伊藤照明* | 感性情報工学、協調工学 | (1) 感性情報を用いたヒューマンインタフェースに関する研究 (2) 人とシステムの調和のための協調支援に関する研究 |
| | | 春木直人 | 伝熱工学 | (1) 高効率・低環境負荷熱エネルギー輸送技術に関する研究 (2) 快適な空間を実現する蓄放熱技術に関する研究 |
| | | 穂苅真樹 | 計測工学、スポーツ工学 | (1) スポーツの運動計測とスキルの定量的評価に関する研究 (2) ホームセキュリティシステムに関する研究 |
| | 准教授 | 大下和茂 | 生体計測・評価、応用人類学 | (1) 様々な生態情報と健康指標との関連調査 (2) 生体情報に基づいた生活・健康の貢献に繋がる方策の検討 |

*印の教員を指導教員として希望する場合は事前にお問い合わせください。

<参考>

履修案内・シラバス・教育研究者総覧は本学ウェブサイトにて閲覧可能です。

○履修案内 <https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-353/page-910/>

【閲覧方法】 本学ウェブサイト>大学案内>教育情報の公表
>授業科目、授業内容、授業計画に関すること>履修案内

○シラバス <https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/index.html>

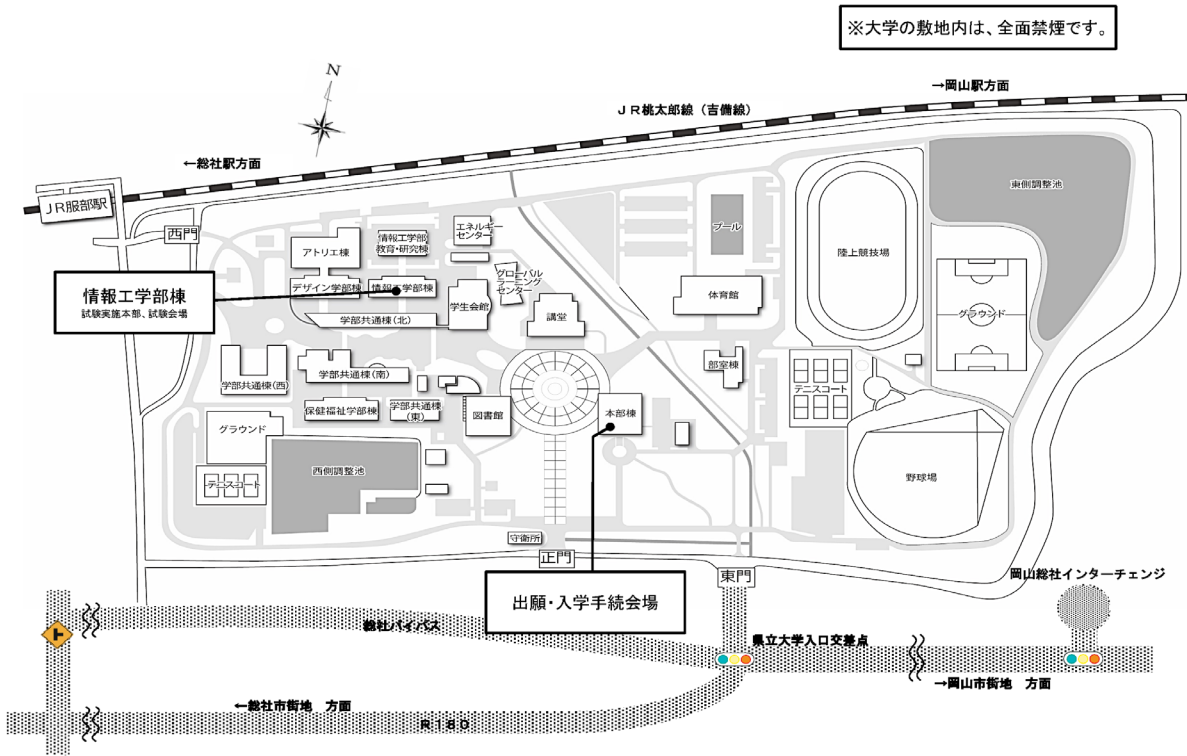
【閲覧方法】 本学ウェブサイト>大学案内>シラバス

○教育研究者総覧 <https://gdata.oka-pu.ac.jp/search/index.html?lang=ja&template=template>

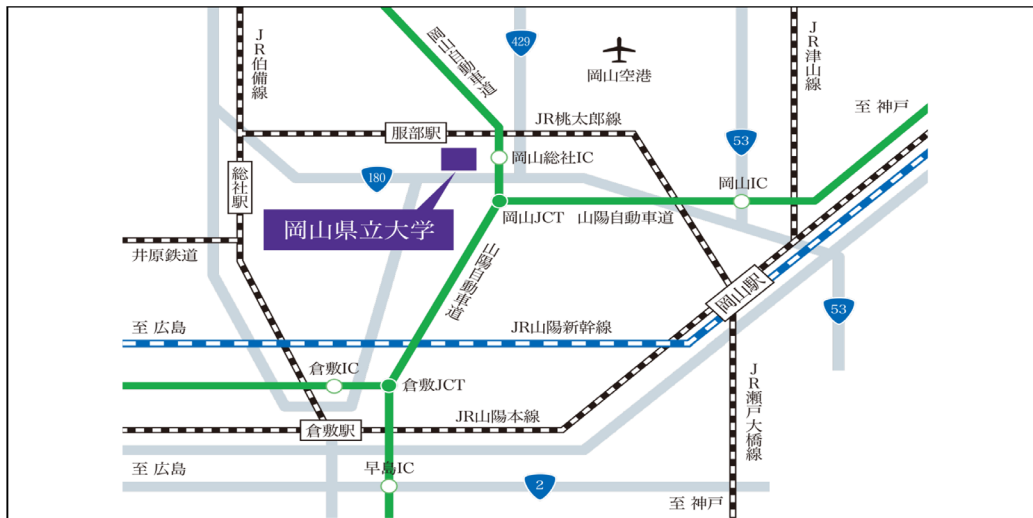
【閲覧方法】 本学ウェブサイト「岡山県立大学」>大学案内
>教員組織、教員が有する学位・業績に関すること>教育研究者総覧

IV 試験会場の配置図及び案内図

■（岡山県立大学）



■試験会場案内図



《交通案内》

- JR桃太郎線（吉備線）・服部駅（JR岡山駅から約30分、JR総社駅から約8分）下車、徒歩5分
- 岡山自動車道、岡山総社ICから約2.5km
- 岡山市街から約1.8km（国道180号経由）、倉敷市街から約1.2km（国道429号経由）

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

岡山県立大学事務局教学課入試班

〒719-1197 岡山県総社市窪木1 1 1 番地

TEL 0866-94-9163 (直通)

0866-94-2111 (代表)

電子メール nyushi@oka-pu.ac.jp

※ お問い合わせの際は、出願される課程（後期課程）及び募集区分（秋季入学）をお知らせください。

ウェブサイト <https://www.oka-pu.ac.jp>